

事務事業名	浄化槽設置助成事業費										担当課	部課名	下水道部下水道総務課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	007	説明	01	課等の長	近藤 和彦	電話	4511

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁負荷を軽減するため、公共下水道事業計画区域外において、居住の用に供する住宅でみなし浄化槽又はくみ取り槽から浄化槽へ転換する者に対して、その設置費用、不要となった浄化槽の撤去費及び宅内配管工事費の一部を助成する。				
対象	1. 個人	公共下水道事業計画区域外人口	約	9,000	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市浄化槽設置補助金交付要綱				
事業実施内容	公共下水道事業計画区域以外の住宅に浄化槽を設置した者(みなし浄化槽又はくみ取り槽から転換した者)に対して補助金を交付した。 みなし浄化槽からの転換 5人槽 722千円 2基 (浄化槽撤去費及び宅内配管工事費含む) くみ取り槽からの転換 5人槽 432千円 1基 (宅内配管工事費含む) また、浄化槽整備推進区域内でみなし浄化槽及びくみ取り槽を使用している設置者に対して浄化槽への転換を促した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額 (千円)		主な内容
	1,897 千円	旅費 消耗品費 負担金補助及び交付金	5 千円 1,892 千円		事務経費 浄化槽設置に対する補助
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額 (千円)	常時勤務職員※	
	1,897 千円	分担金・負担金 使用料・手数料 国庫支出金 県支出金	592 千円	0.55人工	
		その他 ( )		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		一般財源	1,305 千円	0.00人工	
				合計	0.55人工
				※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
				会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	7,199	6,140	5,671	6,927					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	7,258	6,135	5,674	6,926					
		事業費(支出済額)	1,958	789	654	1,897					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	5,300	5,346	5,020	5,029					
		①常時勤務職員等の給与等	5,042	5,028	4,722	4,799					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	258	318	298	230					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-59	5	-3	1					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-59	5	-3	1					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他 ( )	0	0	0	0					
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		16.77 429,317	14.18 433,060	13.03 435,121	15.78 438,968				
成果実績	指標名	助成対象区域における、浄化槽(浄化槽及びみなし浄化槽)及びくみ取り槽の総数に占める浄化槽の設置基数の割合	目標	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %
		実績	36.3	単位 %	38.1	単位 %	40.4	単位 %	41.5	単位 %	
	備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	下水道部	氏名	鈴木 壯一	確認日	2022/8/9
----	------	----	-------	-----	----------

事務事業名	浄化槽管理指導事業費										担当課	部課名	下水道部下水道総務課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	007	説明	02	課等の長	近藤 和彦	電話	4511

1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	公共用水域の水質保全のため、浄化槽使用者に対して適切な浄化槽の維持管理指導を行う。				
対象	1. 個人	浄化槽設置者	約	4,470	人
根拠法令等	法律等	浄化槽法、同施行令、同施行規則、藤沢市浄化槽法施行細則、藤沢市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例、同施行規則、藤沢市手数料条例			
事業実施内容	①浄化槽設置届等受理 107件(設置届39件、廃止届56件、休止届0件、開始報告書10件、変更届2件) ②法定検査受検数 7条検査 29件、11条検査 1,588件 ③浄化槽保守点検業者登録				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容								
	817 千円	費目	支出済額 (千円)									
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.55人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.55人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和3年度	常時勤務職員※	0.55人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.55人工
		令和3年度										
	常時勤務職員※	0.55人工										
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工										
	合計	0.55人工										
817 千円	費目	支出済額 (千円)										
分担金・負担金												
使用料・手数料												
国庫支出金												
県支出金												
その他 ( )												
一般財源		817 千円										

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	3,291	1,975	7,500	5,847			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	3,291	1,975	5,841	5,846			
		事業費(支出済額)	225	336	821	817			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	3,066	1,639	5,020	5,029			
		①常時勤務職員等の給与等	3,066	1,639	4,722	4,799			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	0	0	298	230			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	1,659	1			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	0	0	1,659	1			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他 ( )	0	0	0	0			
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.67 429,317	4.56 433,060	17.24 435,121	13.32 438,968			
成果実績	指標名	浄化槽法に基づく法定検査(11条検査)受検率	目標	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %
		実績	36.1	単位 %	36.6	単位 %	37.9	単位 %	36.0
	備考								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 保守点検実施率は約80%であるものの、みなし浄化槽設置者においては法定検査を受検しないケースが多い。法定検査の受検率は県内平均の受検率より高いものの40%弱に留まっている。	中
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	下水道部	氏名	鈴木 壯一	確認日	2022/8/9
----	------	----	-------	-----	----------